

特集

EBP 教育ってなに？

EBPとは何か

看護教育はEBPそのものである 山川みやえ

EBPサイクルを回す戦略

研究活動がそのまま教育になる事例 山川みやえ

大阪大学のEBP教育に向けた取り組み

学部生の場合 廣瀬瑠華、山川みやえ

訪問看護の現場とEBP

訪問看護ステーションとの抄読会を通して 金谷玲子

EBP教育と実践とのかかわり

研究者と臨床家が対話することの重要性 瀧上恵吾

臨床看護が楽しくなるEBP

研究活動を通して実感した実践を変える取り組み 竹下悠子

【座談会】

EBP教育の課題と展望 竹屋 泰、山川みやえ、嵯屋絵理子

巻頭インタビュー

すべての人に届けたい！解剖生理の学びとおもしろさ 山本健人さん

特別記事

クローン病とともに生きている私がとらえた看護への問い直し……………水野 光

レポート

地域に開かれた交流の場 名古屋平成看護医療専門学校の「げんきカフェ」

連載

看護基礎教育にコーチングを取り入れよう ② オーガナイゼーション

……………佐藤尚治／勝田 護

臨床で本当に必要な薬のおはなし ② 薬の作用と剤形……………大井一弥

臨床倫理を映画で学ぼう！ plus 第8回『薬の神じゃない！』……………浅井 篤

看護教育 第64巻1号(通巻758号)

2023年2月25日発行(年6回発行)

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5650

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：坂元・野中・番匠・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2023, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円(本体2,500円+税10%)

2023年年間購読料(送料弊社負担、年6冊)

冊子+電子版/個人：16,500円

(本体15,000円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

『看護教育』は株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

能では主役が高齢の曲は位が重く、特に「老女物」は秘曲とされます。長い人生で重ねてきた経験や知識、気品を醸して謡うこと、静かかつ重みをもたせた舞事には高い技術を要するためとされています。看護師に限らず、高齢者の個々の物語や意思に目と心向けるには、涵養の原義のように、丁寧じっくりと時間をかけた水やりが必要だと感じます。さて、『看護教育』が2022年にリニューアルしてから丸1年が経ちました。今後も皆さまとともに雑誌をつくっていきたく存じます。(坂元)

私も世間的には大人と呼んで差し支えない年齢になりましたが、小学生頃から基本的には何も変わっていないので、人生100年時代という、これからウン十年後、自分はどこで何をしているのか、経験や知識を積んで、すこしは気品を醸し出しているのか……、不安は尽きませんが、まずは目の前の仕事に集中し、すこしでも皆様のお役に立てるような誌面づくりを心がけてまいります。本誌をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。(野中)

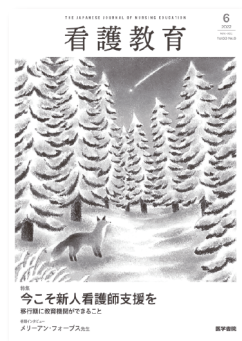
今号から、スポーツコーチングの連載がはじまりました。佐藤尚治先生が企画されたFDでの、勝田護先生の熱い講演、参加されていた先生方の反響を拝見し、これはぜひ!とお願ひしました。教育の場面で「体育会系」というと、不条理で厳しい指導が連想され、あまりイメージもよくないかもしれませんが、星一徹の時代はもう過ぎ去っています。体育会系こそスクールです。今後、さまざまな実践場面を取り上げていきますので、プロフェッショナルを育てるかかわりのヒントとなれば幸いです。(番匠)

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2022年6号

特集 今こそ新人看護師支援を 移行期に教育機関ができること



コロナ禍で実習経験がない、もしくは非常に乏しいまま卒業し就職した学生は、技術不足や周囲との関係構築に対する不安など、これまで以上に多くの困難を抱えています。そんななか、さまざまな教育機関が新人看護師に対する移行期支援を始めています。本特集は、それらを紹介しつつ、学生から看護師への移行期に教育機関ができることを考えた内容です。

2022年5号

特集1 新入教員の「困った」を考える

特集2 看護教員として知っておきたい 今の学生とコミュニケーション

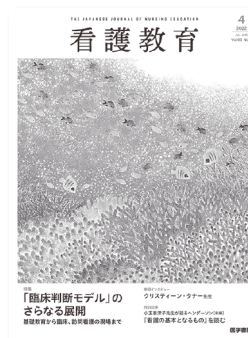


特集1では、新人看護教員が今どのような支援を求めているかを探り、新入教員支援の展望について、能力開発、教育学それぞれの専門家の視点から解説いただきました。特集2では、今の学生の姿（若者像）を探り、コミュニケーションとは何なのかをあらためて考えます。看護教員として学生とコミュニケーションをどうとらえたらよいか、多彩な領域の著者に論述いただきました。

2022年4号

特集 「臨床判断モデル」のさらなる展開

基礎教育から臨床、訪問看護の現場まで



特集では、看護師のその場、そのときの思考に着目した、タナー先生の臨床判断モデルの意義を再確認するとともに、基礎教育や現場でのさまざまな活用事例、また、2022年に新たに示されたモデルの改変ポイントについて解説していただきました。

2022年3号

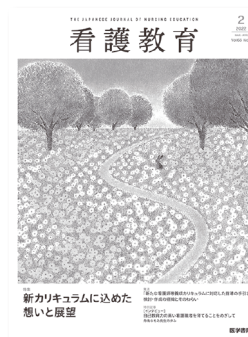
特集 地域とつながる看護教育



第5次指定規則改定では地域・在宅看護論が新設されるなど、看護基礎教育において、地域の重要性が着目されるようになっていきます。カリキュラム全体を通して、より地域で活躍できる看護師の育成を重視した教育機関の取り組みや、今後広がる実習先についてご紹介いただきました。

2022年2号

特集 新カリキュラムに込めた想いと展望



専門学校や大学、高等学校などさまざまな教育機関の先生にご登場いただき、地域性や学校の設立趣旨、理念などの特徴をふまえた新カリキュラムの内容に加えて、これからの展望について紹介いただきました。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL : 03-3817-5650 (医学書院 販売・PR 部)

○ 2021年1号 (Vol. 62 No. 1) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>